

令和5年度都立小川高等学校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	卒業後も活用できる国語知識の定着	<ul style="list-style-type: none"> 漢字テストや古文単語テストの定期的な実施 ポर्टフォリオや短文作成を通じた意見発信の機会創設 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字検定の複数回実施 小論文模試の実施
地歴・公民	多角的な視点を生かした学力の三要素の充実	<ul style="list-style-type: none"> 地歴科・公民科の連携による時間軸と空間軸の知識を広げる 様々な社会問題を自分ごととして捉える思考力の育成 自らの興味・関心に基づいて、主体性を伸ばし成長を促す指導 	<ul style="list-style-type: none"> 時事問題や大学受験に対応できる個別指導の充実 アクティブラーニングなど共同して発見力をつける授業改革 外部講師の招聘や探究学習の連携で総合型選抜対策の特別授業
数学	・数学的な見方、考え方を働かせた数学的活動	<ul style="list-style-type: none"> 事象を数学的に捉え、数学の問題を見だし、解決に導き出せる教材の開発 問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業の実施 一つの解法だけでなく、様々な見方、考え方を発見できるような工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、その過程を自ら評価・改善したり、発展的な問題の解決に利用しようとする態度の評価を取り入れた授業の実施
理科	「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実。	<ul style="list-style-type: none"> 自ら課題を見出し、探究活動に取り組む姿勢を育む教育計画の作成。 主体的に課題に取り組み、解決に向かう力の育成。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科を越えた教員相互の授業参観の実施。 一人1台端末を活かした調査や実験データ整理の取り組み。
保健体育	健康の成り立ちを理解し生涯にわたる豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通してトレーニングを行い体力の向上を図る。 自ら運動を計画し実践できる能力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 3学年では種目選択を行い、生徒が授業計画をたて、授業を行う。
音楽	・表現活動の充実とその能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、他者と協働して楽曲を完成させる。個人カードでの振り返りと、自ら継続性のある目標設定を定着させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業内での発表や合唱祭などで、他者との違いも認めながら表現を高め合う機会を設定し、深い学びの実現を図る。
美術	基礎的表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫する活動の充実。	<ul style="list-style-type: none"> 身近なものを多様な視点からスケッチやデッサンをし、ものの形態を把握する能力を高めさせる。 振り返りシートを活用し、「調べる→制作→発表→振り返り」のサイクルを定着させる。 	<ul style="list-style-type: none"> イラストレーション系の進路選択者が受験時にも活用できるようなものを制作させる。
書道	「臨書」を通して技術を学び、「創作」活動にそれを生かしていく学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 表現の幅を広げるために、できるだけ様々な分野の書風の違った古典の臨書を実施 他人の書を鑑賞することから自分の個性を発見したり、異なる表現方法の存在を意識したりできる指導を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 古典の臨書学習で習得した技術を創作という自分の表現に取り込むことができるか、イメージを整理しやすいよう助言し作品完成へ道びく指導の実施
英語	「話すこと」の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 4月の教科会で年間の方針を決定 CAN-DOリストの作成 各科目で年3回パフォーマンステストを実施 授業で1分間「話すこと」活動を実施 	<ul style="list-style-type: none"> オンライン英会話の取組を評価するためのルーブリックの開発・活用 TGG後に体験に基づくスピーチテストの実施 外部資格試験(英検など)のスピーキング指導
家庭	実習と講義をつなげて、定着を図る	<ul style="list-style-type: none"> 各分野にそれぞれ実習課題を課し、実体験と理論のつながりから理解をすすめる実生活で活かせる授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 各分野で実習で作成したものが自分で使えることを前提に、必ず完成させて提出させる。